



# Koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向三丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077  
https://koryo-high-school.com / Eメール koryo@chibagakuen.ac.jp



7月13日(水)、コロナ対策を講じながら規模を縮小して体育祭が行われた。休憩時間にはPTAの皆様から熱中症対策として塩分補給のタブレット、飲み物が配られた。閉会式終了後にはサンドイッチもいただき、生徒たちは一学期最後の行事を笑顔で締めくくった。結果は、団体競技で点数を重ねた3年生が優勝、準優勝となった。

## 優勝は3年2組 準優勝は3年1組



▲コロナ禍に入学してきた3年生。当たり前のようにマスクでの高校生活が始まり、入学早々休校も経験。修学旅行やバス遠足などの行事をはじめとして様々な行事が中止となった学年でもある。体育祭は、時間短縮をして行ったが、各学年が十分に楽しみ、3年生は高校生活最後の年に同学年2クラスが集う写真を撮ることが叶った。(撮影時マスクを外してもらっています)

# 体育祭

## 3部リーグ後期

6月19日(日)に開幕した高円宮杯U-18県3部リーグ後期リーグ。本校は未だ負けなしの4戦全勝中。2部昇格に向けて残り3試合に全力で挑む。

○6月19日(日) 向陵 13-0 八西2nd  
【得点】2年 徳田 琉星(静岡市立蒲原中学校出身) 2  
3年 大下 徳美(名川中学校出身) 4  
2年 細越 朝陽(第一中学校出身) 2

○6月26日(日) 向陵 3-1 十和田1  
【得点】2年 徳田 琉星(静岡市立蒲原中学校出身)  
1年 出川 憐(白銀南中学校出身)  
2年 山家 昌悟(平塚市立藤沢中学校出身)

○7月3日(日) 向陵 3-2 八北

【得点】2年 徳田 琉星(静岡市立蒲原中学校出身) 2  
1年 佐々木聖空(千葉市立千城台西中学校出身)  
○7月10日(日) 向陵 2-1 光星3rd  
【得点】2年 有川 輝優(小田原市立国府津中学校出身)  
2年 細越 朝陽(第一中学校出身)



## 4戦全勝

## 模擬選挙

7月6日(水)、8日(金)、1年生の公共の授業で模擬選挙を行った。生徒たちは、参議院選挙の比例区を対象に主要政党を各班で担当、政策調べを事前に学習済み。調べたものをもとに同日投票し、後日開票した。

### 《生徒感想》

・模擬選挙をやってみて政党の公約や特色を調べ、投票する政党を決めるのは悩むけれども、私たちが将来暮らしていくなかで選挙は大切なことだと思いました。日本は投票率が低いとテレビで見ることがあるので、選挙権を持ったら絶対に選挙に行こうと思いました。模擬選挙で選挙の流れを知ることができたので将来に役立てていきたいです。

・私は今回の模擬選挙を通して政党を選ぶことは、やはり難しいと思いました。なぜなら公約の内容だけでなく、公約の成果が出ているかということが大切であると理解していても、成果を調べるのに時間がかかったからです。

・受付をやりました。今回の人数だけでも大変だったので普通の選挙の方は、大変だと思いました。投票は自分が入れる一票に責任を持たなくてはならないと思いました。

・やり方は凄く簡単ですが、緊張感もあり、体験できて良かったです。でも、どの党に投票するか悩みました。多分、大人になっても悩むと思うから、もっと社会のことを知って、今、社会はどんなことで悩んでいるのか、どんな課題があるのか知ってから、その課題に適した党を選びたいと思いました。

・担当した政党を調べたときは、班員で役割分担して細かく調べることができました。こんなに簡単にできるのに、今の若い人たちは「時間が無いから」「面倒臭い」などと無関心なのが残念だと思いました。少しの「面倒臭い」をすることが、日本の将来を大きく左右するのだと授業を通してわかりました。





# 東京演劇集団 風 KAZE



～ひびき合うものたち～

# ヘレン・ケラー



7月5日(火)、本校で久しぶりとなる芸術鑑賞会が行われた。演目は、東京演劇集団風の皆さんによる演劇「ヘレン・ケラー」ひびき合うものたち。生徒たちは、突如体育館に現れた大きな舞台セットに驚きを隠せない様子だった。真剣にぶつかり合うヘレンとサリバンの魂の触れ合い、迫力ある演技が向陵生たちの心を震わせた。公演後は役者の方々と各学年で記念撮影を行った。後片付けを通して劇団員たちと交流した。

《生徒感想》

1年 小柴 真優(第三中学校出身)  
ヘレンとサリバン先生が2週間一緒に生活を少しずつ指文字を覚えたヘレンが、最後に指文字で会話できたシーンが印象的でした。演劇を観て、改めて諦めないことが大切であると思えました。三重苦の中でサリバン先生とできることを増やし、乗り越えたのがとても凄く思いました。短い期間でたくさんできるようなようになったのが驚きました。諦めないで教え続けたサリバン先生の言葉が感動しました。できないとすぐ諦めてしまう私は、少しづつでも頑張ろうと思えました。登場人物一人一人の心情を考えながら、より面白く観ることができました。以前、点字や指文字を少し習ったことがあり、劇を観て更に調べてみようと思えました。このような機会があつて良かったです。考え方が変わり、今後に生かせると思います。諦めずに前を向いて頑張っていきたいです。

1年 田端 楓華(三条中学校出身)  
今回の演劇でヘレン・ケラーに初めて触れました。ヘレンにつきっきりで文字や言葉を教え、暴れるヘレンに、サリバン先生は、時には厳しく、時には優しく根気強く接していききました。そのうち、ヘレンも少しずつ心を開いていきました。その姿を見て諦めないことの大切さを学びました。人の心だけではなく、時間と強い気持ちを持てば、不可能は可能に変わるとこのことを知ることができました。人として成長を重ねるヘレンのように自分も日々成長していきたいと思います。

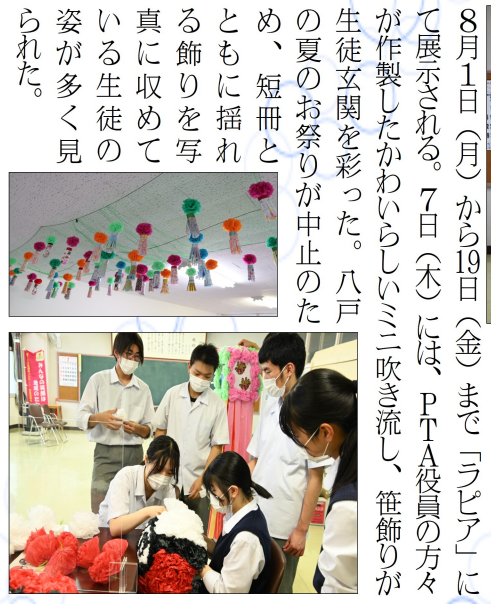
1年 山本 真央(下長中学校出身)  
ヘレン・ケラーの話は、本で何度か読んだことがありましたが、実際に劇を観ることで一層、物語の内容を深く味わうことができました。「ヘレン・ケラー」「サリバン先生」それぞれそれぞれの人生の流れから始まり、二人の努力や苦悩、喜びが細かく描かれた作品でした。特に印象に残ったシーンは、サリバン先生が、どうにもならない辛さや苦しみを抱えていたヘレンを受け止めたところです。指文字で言葉を教えたり、してはいけないことなど、生活する上でのルールを教えたりと、ヘレンのために愛情を注ぐ姿。それに気づき、苦しいことも投げ出さずに必死に努力するヘレン。そして、なにより感動したのは、「サリバン先生が来て、ヘレンが前より静かになって良かった。行儀も良くなった」と言うヘレンの親に「大事なことは、行儀なんかじゃない。ヘレン自身が生まれてきて良かった。自分は幸せだと心の底から思えること。ヘレンの心の扉を開きたい」とヘレンの幸せを一番に願うサリバン先生の情熱と優しさです。ヘレン自身もサリバン先生もそれぞれの苦労があったからこそ、お互いに心が通じ合うことができたのではないかと思います。たとえ、目が見えなくても、耳が聞こえなくても、人の愛情を受け取ることはできるのだと思いました。

2年 石岡 真衣(小中野中学校出身)  
劇団員の方々の言葉のない演技や仕草、声など、迫力に圧倒されました。特に一人が目立つ場面であつても、その人以外の表情は全く崩れず、さすがプロの演劇集団だと思いました。物語も、自分と重なる部分があり、面白いだけでなく、気づいたところもたくさんありました。そして、セットの片付けのお手伝いの時に、照明スタッフの方とお話をしました。斜めの床のことを八百屋舞台ということも教えてもらいました。その他、照明のことやセットのこと、役者さんからはステージ上での気持ちの持ち方を聞きました。私は、部活動でステージに立つことがあるので、「観てくれる人のことを思って」と言ってお下されたことを頭に入れてステージに立ちたいと思います。今回、この劇団の方は向陵に来るのは3回目だとおっしゃっていました。いつでもどこでも観られるわけではないので、こういう機会に恵まれて本当に良かったです。

2年 佐々木威音(是川中学校出身)  
私は、障がいの壁を乗り越えることは、非常に難しいと感じています。しかし、病気で失ったものと生きていかなければならないといった流れは感動しました。私自身、思いを伝えることを困難に思うことがあります。演劇を観ることによって、日々の生活が不自由な状態であつても生きていくことの大切さ、伝えることの重要性を感じることもできました。サリバン先生の「心を開かせてほしい」という言葉が印象的でした。コロナ禍にもかかわらず、八戸まで来て下さった劇団の方々に感謝しています。いい思い出になりました。

3年 高橋 宏輔(大館中学校出身)  
サリバン先生の言った「服従するだけでは駄目なのです」という言葉が特に印象に残っています。互いに触れ合うことで、ヘレンの心の整理、サリバン先生の弟シミーの幻聴を克服した二人の成長の物語だと感じました。

7月4日(月)、八戸警察署少年補導職員の方々の指導を受け、本校JUMPチームが大型七夕飾りを作製した。完成した飾りは、地域住民の非行防止意識の高揚を図ることを目的として、7月19日(火)から28日(木)まで「プラドゥ」にて展示される。7日(木)には、PTA役員の方々が作製したかわいらしいミニ吹き流し、笹飾りが生徒玄関を彩った。八戸の夏のお祭りが中止のため、短冊とともに揺れる飾りを写真に収めている生徒の姿が多く見られた。



フェラーリに興奮

七夕に願いを

6月29日(水)、本校中庭にフェラーリが